

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第2週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (2 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 1 例。
5 類感染症：急性脳炎 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 2 例、梅毒 3 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	肺結核	咳、痰、胸痛、呼吸困難
			70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	肺結核	痰、発熱、呼吸困難
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	70歳代	女	肺結核	発熱
4類	つつが虫病	都城	70歳代	女	—	発疹
5類	急性脳炎	小林	30歳代	女	インフルエンザウイルスA	発熱、痙攣、意識障害
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30歳代	男	AIDS	咳嗽、発熱 【指標疾患】ニューモシスティス肺炎
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、咳、肺炎
			80歳代	女	—	頭痛、発熱、肺炎
	梅毒	宮崎市	40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹、 丘疹性梅毒疹
		延岡	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
		高鍋	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	百日咳	都城	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、 スタックカート、ウーブ
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、 スタックカート
		延岡	10歳代	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 4,119 人(定点当たり 76.2)で、前週(年末年始含む)比 158%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した疾患はなかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は 3,320 人(57.2)で、前週比 138%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(37.8)の約 1.5 倍であった。延岡(82.1)、日向(71.5)、日南(61.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

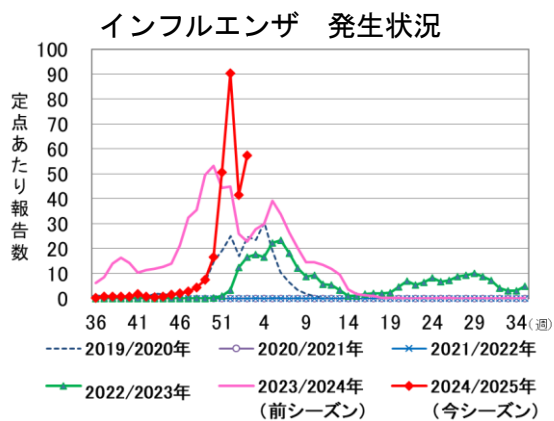
【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 409 人(7.1)で、前週比 206%と増加した。延岡(12.6)、高千穂(10.5)、日向(8.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

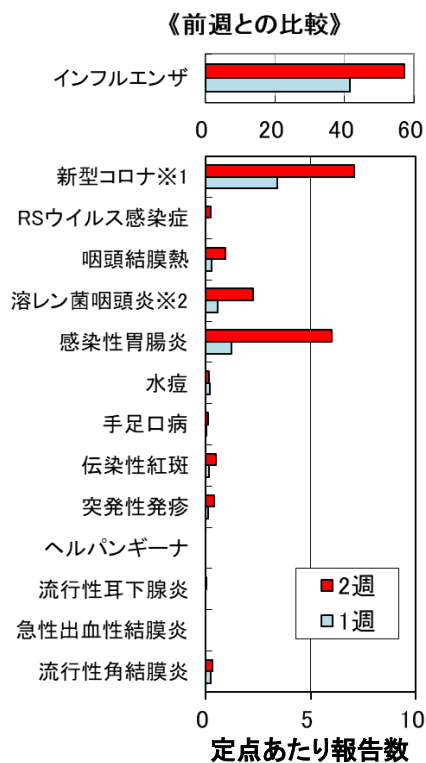
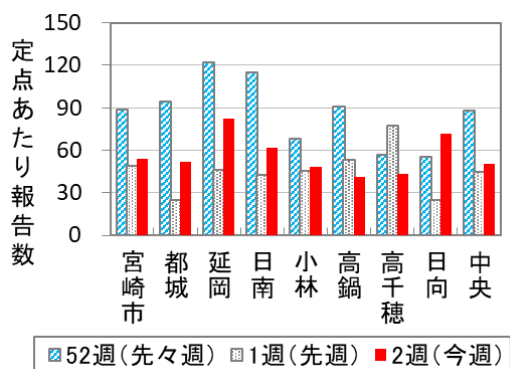
【感染性胃腸炎】

報告数は 216 人(6.0)で、前週比 483%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.8)の約 0.6 倍であった。小林(15.3)、都城(8.2)、日向(6.0)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約半数を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の
当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値



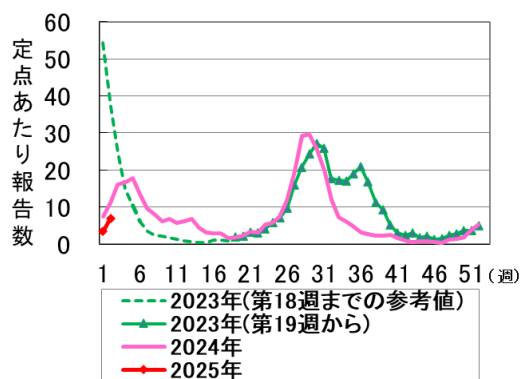
インフルエンザ 保健所別推移 (3 週分)



※1 新型コロナウイルス感染症

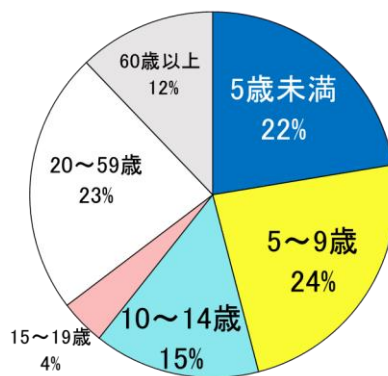
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

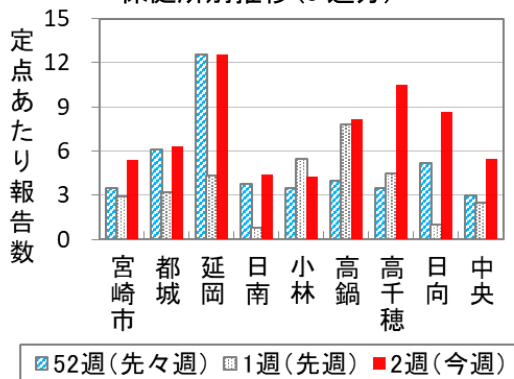


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

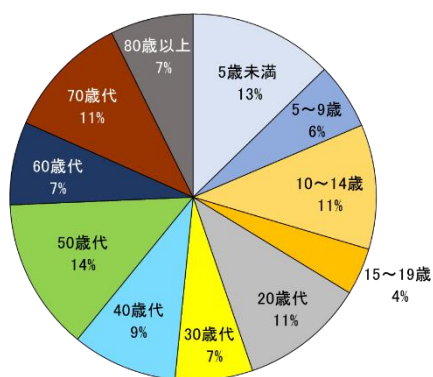
インフルエンザ年齢群別グラフ (第 2 週)

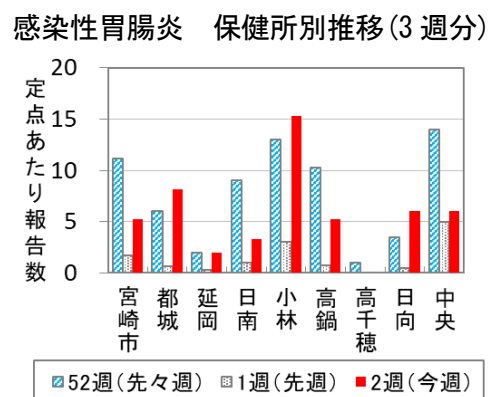
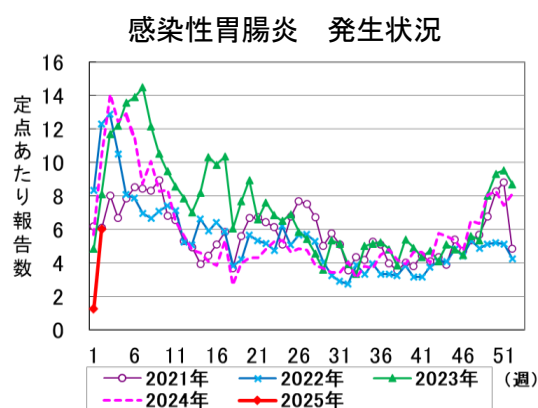


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移 (3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ (第 2 週)





★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は7例(定点当たり1.0)で、前週(年末年始含む)比3.5倍と増加した。日向(3例)、宮崎市(2例)、延岡(1例)、高鍋(1例)保健所から報告があった。年齢は10～14歳が4例、5～9歳が2例、20歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(53.8)
都城	インフルエンザ(52.1)
延岡	インフルエンザ(82.1)
日南	インフルエンザ(61.4)
小林	インフルエンザ(48.0)
高鍋	インフルエンザ(41.3)
高千穂	インフルエンザ(43.5)
日向	インフルエンザ(71.5)
中央	インフルエンザ(50.5)

※流行警報レベル開始基準値※
・インフルエンザ(30)

全国 2025 年第 1 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし			
2類感染症	結核	23 例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9 例		
4類感染症	E型肝炎	1 例	レジオネラ症	14 例
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例	急性脳炎	15 例
	後天性免疫不全症候群	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	70 例	水痘(入院例)	5 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	風しん	1 例		
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例
			侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
			梅毒	17 例
			百日咳	25 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 51%と減少した(年末年始含む)。なお、前週と比較して増加した疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 141,998 人(33.8)で前週比 53%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(16.7)の約 2 倍であった。岐阜県(70.7)、茨城県(60.2)、愛知県(56.0)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 22,357 人(5.3)で前週比 76%と減少した。岐阜県(13.9)、福島県(13.3)、茨城県(12.2)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 368 人(0.8)で前週比 57%と減少した。岡山県(3.4)、広島県(2.5)、埼玉県(2.0)、岐阜県(2.0)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 0.3 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2024 年 12 月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比80%と減少した。また、昨年12月(2.8)の約0.9倍であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月の約0.8倍、昨年12月の約0.7倍であった。

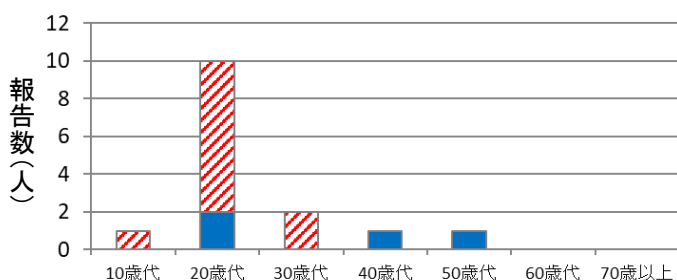
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性4人・女性11人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の0.8倍、昨年12月の約1.6倍であった。(女性8人)

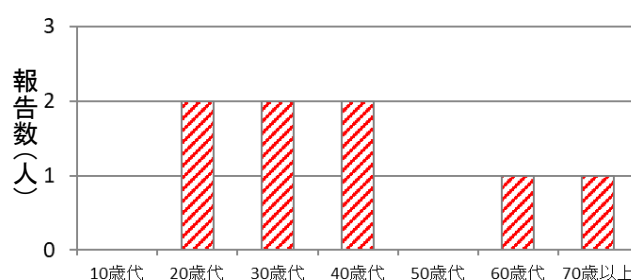
○尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月と同率、昨年12月の3倍であった。(女性3人)

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約0.9倍、昨年12月の約0.9倍であった。(男性5人・女性1人)

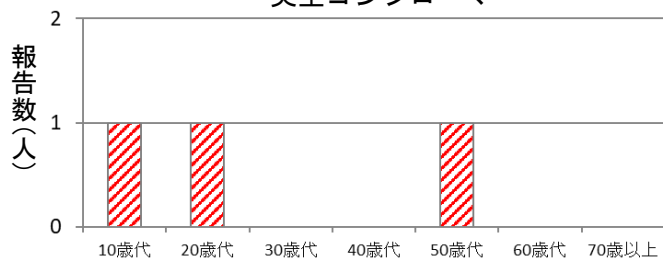
性器クラミジア



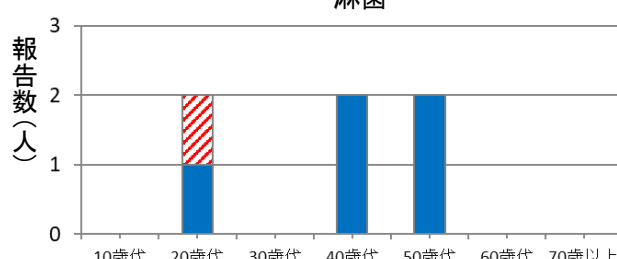
性器ヘルペス



尖圭コンジローマ



淋菌



■ 男 ■ 女

【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,087人(4.2)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,074人(2.1)で前月比89%、性器ヘルペスウイルス感染症840人(0.86)で前月比113%、尖圭コンジローマ500人(0.51)で前月比100%、淋菌感染症673人(0.69)で前月比106%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で、前月比100%と横ばいであった。また、昨年12月(2.7)の約0.8倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月と同率、昨年12月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,415人(3.0)で、前月比109%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,318人(2.8)で前月比109%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症86人(0.18)で前月比106%、薬剤耐性緑膿菌感染症11人(0.02)で前月比200%であった。

疾病名		第01週	第02週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2164	3320	860	521	575	307	192	248	87	429	101
	定点当り	41.62	57.24	53.75	52.10	82.14	61.40	48.00	41.33	43.50	71.50	50.50
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	178	409	86	63	88	22	17	49	21	52	11
	定点当り	3.42	7.05	5.38	6.30	12.57	4.40	4.25	8.17	10.50	8.67	5.50
RSウイルス 感染症	報告数		8	1	1	4			1		1	
	定点当り	0.00	0.22	0.10	0.17	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	33	18	7				3		5	
	定点当り	0.27	0.92	1.80	1.17	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	1.25	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	19	81	50	4	5	8		8		5	1
	定点当り	0.58	2.25	5.00	0.67	1.25	2.67	0.00	2.00	0.00	1.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	41	216	52	49	8	10	46	21		24	6
	定点当り	1.24	6.00	5.20	8.17	2.00	3.33	15.33	5.25	0.00	6.00	6.00
水 痘	報告数	6	6		3		2	1				
	定点当り	0.18	0.17	0.00	0.50	0.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1	4			3		1				
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.00	0.75	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	17	12	3	1					1	
	定点当り	0.15	0.47	1.20	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	4	15	4	2	2	2			1	2	2
	定点当り	0.12	0.42	0.40	0.33	0.50	0.67	0.00	0.00	1.00	0.50	2.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	2		2							
	定点当り	0.25	0.33	0.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2	7	2		1			1		3	
	定点当り	0.29	1.00	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		3.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

* 第1週の報告数に一部修正があります

● 全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週 ～2週 保健所受理分)

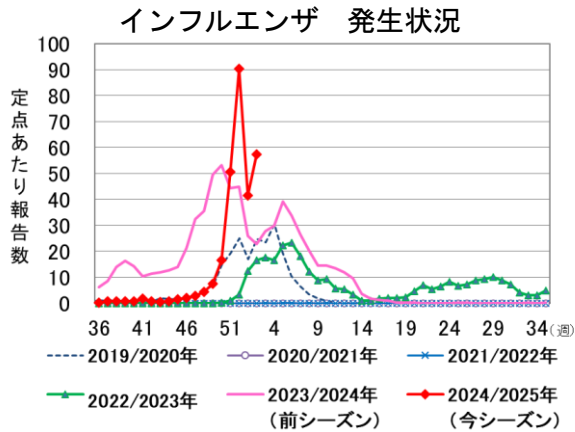
2類感染症	結核	5例(5)		
4類感染症	つつが虫病	2例(1)		
5類感染症	急性脳炎	1例(1)	後天性免疫不全症候群	1例(1)
	梅毒	3例(3)	百日咳	5例(3)
			侵襲性肺炎球菌感染症	2例(2)

インフルエンザ情報《県内第2週、全国第1週（再掲）》

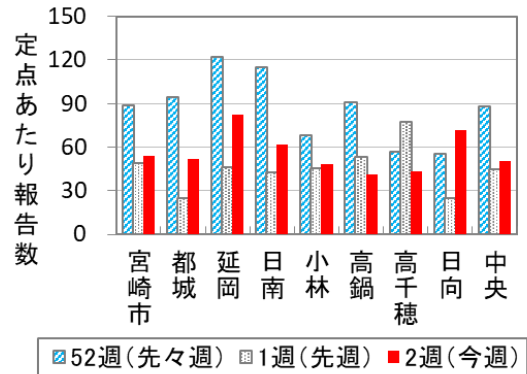
□ 県内第2週インフルエンザ発生動向

1月6日～1月12日までの1週間で3,320人(57.2)の報告があった。前週(年末年始含む)比138%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(37.8)の約1.5倍であった。

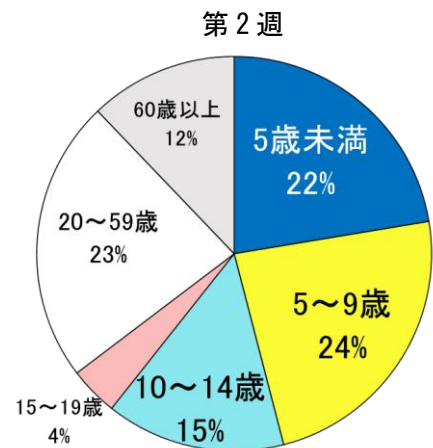
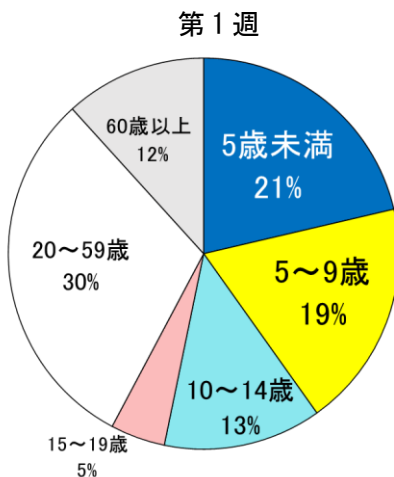
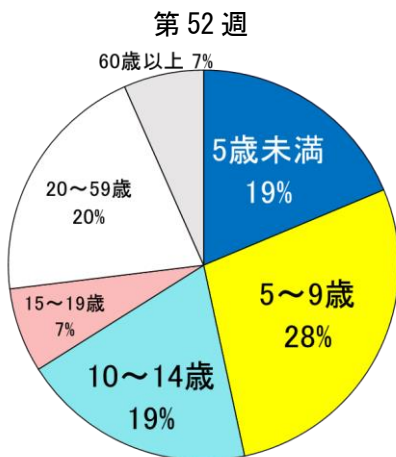
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



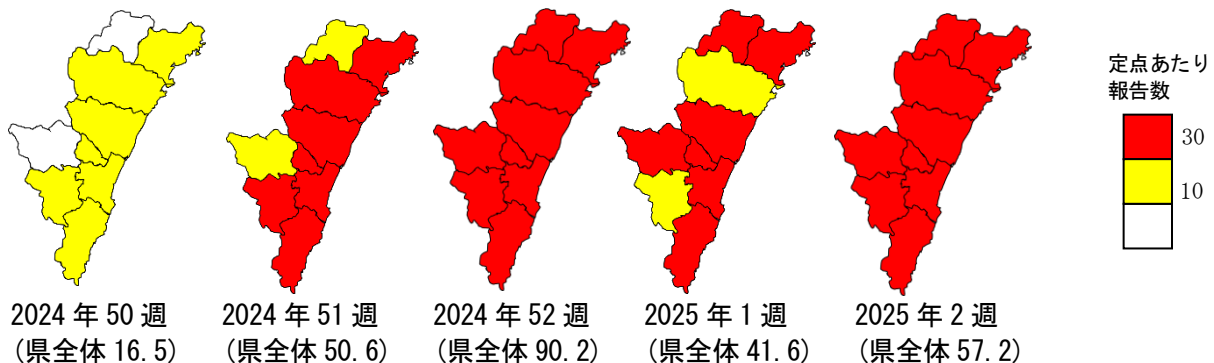
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第50週～2025年第2週



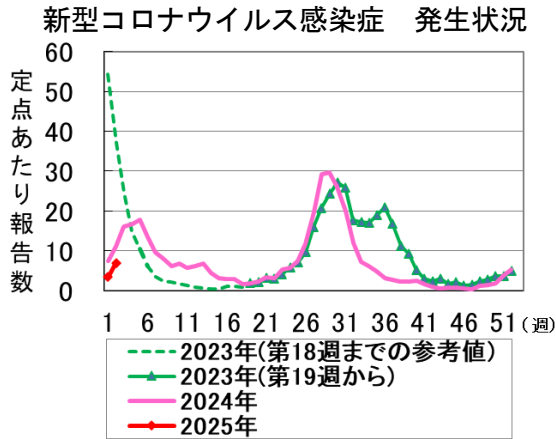
□ 全国第1週インフルエンザ発生動向

12月30日～1月5日までの1週間で141,998人(33.8)の報告があった(年末年始含む)。前週比53%と減少し、岐阜県(70.7)、茨城県(60.2)、愛知県(56.0)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の14%、5-9歳が12%、10-14歳が8%、15-19歳が5%、20-59歳が44%、60歳以上が17%であった。

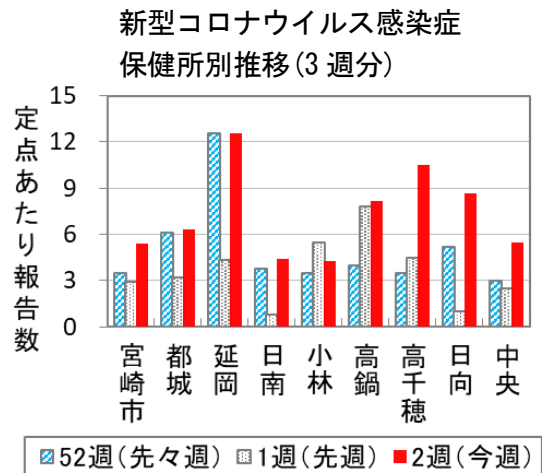
新型コロナウイルス感染症情報《県内第2週、全国第1週(再掲)》

□ 県内第2週 新型コロナウイルス感染症発生動向

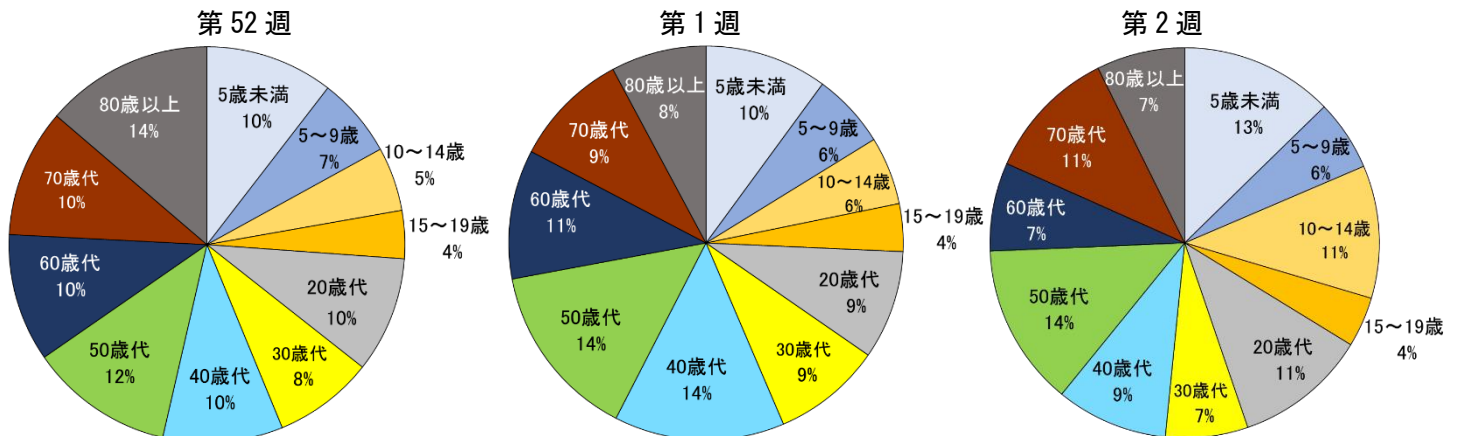
1月6日～1月12日までの1週間で409人(7.1)の報告があり、前週(年末年始含む)比206%と増加した。延岡(12.6)、高千穂(10.5)、日向(8.7)保健所管内からの報告が多かった。



※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

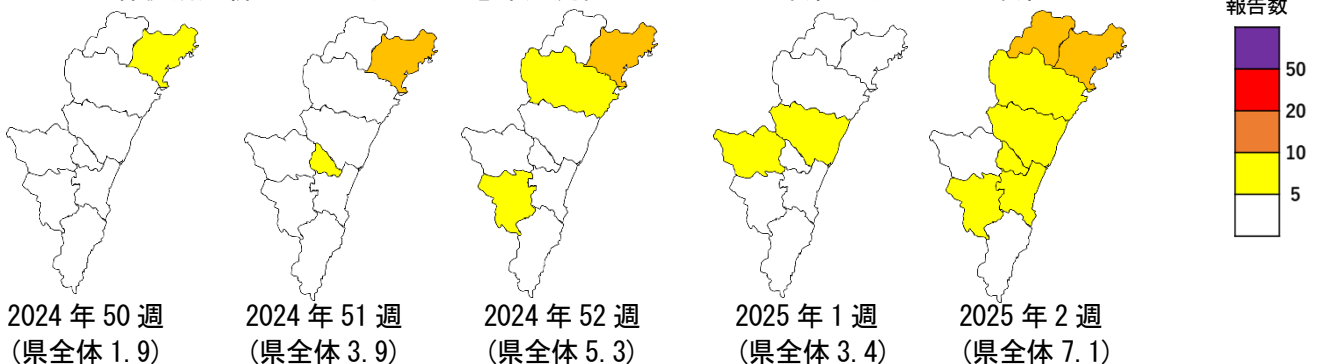


新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ

2024年第50週～2025年第2週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第1週 新型コロナウイルス感染症発生動向

12月30日～1月5日までの1週間で22,357人(5.3)の報告があり、前週比76%と減少した(年末年始含む)。岐阜県(13.9)、福島県(13.3)、茨城県(12.2)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約4割を占めた。